

## D-12 生活改善総合対策樹立のための調査研究 について——被服設計部門——

日本女子大	戸野村 操
学習院女子短大	斎藤 道香
お茶の水女子大	林 雅子
農林省生活改善課	山本 松代
〃	○百武しのぶ

### 1. 研究の目的

この部門では、農家標準家族世帯における好ましい生活に最低限必要な被服の、質量およびそれにもとづく金額を得るのが目的である。

昭和38年度においては上記世帯における家族員別被服の現在の種類および持数、農家側の願望等を把握し、これを参考に原案を得た。更にこれにもとづいて、農家においてこの原案を確認、修正して基準を作成し併せてこれを金額に表現する。

### 2. 研究の方法

委員会において現地の農家の実態、願望を参考に文献、統計、委員の意見等にもとづいて基準原案を作成し、更にこれを近代化の進んだ地域の農家により確認し結論とした。この質量的基準を昭和38年の価格で換算して被服

費を算出した。

### 3. 成 果

家族人員別被服の好ましい最低必要量が得られ、それにもとづく衣服費が明らかになり、併せて好ましい生活に必要な家計費およびその良い費目間バランス算出の基礎となった。